平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月１日

上場会社名　株式会社エフ・ジェー・ネクスト　上場取引所　東
コード番号　8935　ＵＲＬ　http://www.fjnext.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）肥田　幸春
問合せ先責任者　（役職名）取締役 管理本部長 兼 経営企画室長　（氏名）永井　敦　ＴＥＬ　03-6733-7711

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	14,831	10.4	1,874	28.8	1,833	31.4	1,029	58.3
24年３月期第２四半期	13,429	23.9	1,455	－	1,395	－	650	－

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　1,031百万円（56.2%）　24年３月期第２四半期　660百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	66.15	－
24年３月期第２四半期	41.79	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	31,605	19,026	60.2
24年３月期	31,804	18,134	57.0

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　19,026百万円　24年３月期　18,134百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	9.00	14.00
25年３月期	－	7.00			
25年３月期（予想）			－	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
平成24年３月期末配当金の内訳　普通配当７円00銭　特別配当２円00銭

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	1.5	2,700	△35.9	2,600	△36.5	1,300	△39.1	83.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P. ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	16,098,250株	24年３月期	16,098,250株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	535,400株	24年３月期	535,400株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	15,562,850株	24年３月期２Ｑ	15,562,850株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな景気回復がみられるものの、欧州政府債務危機を背景とする世界経済の減速、円高の継続、電力供給の制約等により、依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、2012年上半期（１～６月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同期比14.0%増の２万746戸（株式会社不動産経済研究所調べ）と堅調に推移したものの、平成24年９月度の首都圏におけるマンション契約率は69.3%、新規供給戸数は前年同月比9.3%減の3,366戸（同研究所調べ）と不調な状況となりました。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響は見られるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第２四半期連結累計期間は、売上高148億31百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益18億74百万円（前年同四半期比28.8%増）、経常利益18億33百万円（前年同四半期比31.4%増）、四半期純利益10億29百万円（前年同四半期比58.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション187戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高96億18百万円（505戸）、ファミリーマンション売上高20億73百万円（68戸）、その他収入17億11百万円となり、不動産開発事業の合計売上高134億３百万円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益16億69百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高８億２百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益２億78百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、受注環境が厳しく、売上高は４億66百万円（前年同四半期比5.7%増）に留まった結果、セグメント損失35百万円（前年同四半期は13百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、売上高１億58百万円（前年同四半期比10.3%増）となったものの、本年７月に取得し、９月に開業した新規旅館の開業準備費用等が発生した結果、セグメント損失36百万円（前年同四半期は11百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は286億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億48百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が６億47百万円、受取手形及び営業未収入金が５億89百万円、完成工事未収入金が２億77百万円、未成工事支出金が１億５百万円増加した一方、販売用不動産が11億９百万円、仕掛販売用不動産が８億59百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億49百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が１億11百万円、有形固定資産が１億８百万円、無形固定資産が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は316億５百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億99百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は71億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億67百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が６億53百万円、１年内返済予定の長期借入金が３億94百万円減少したことによるものであります。固定負債は54億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、125億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億90百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は190億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億91百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益10億29百万円であり、減少は剰余金の配当１億40百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.2％（前連結会計年度末は57.0％）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少し、108億73百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は15億３百万円（前年同四半期は19億47百万円の収入）となりました。主な収入は、たな卸資産の減少額18億59百万円、及び税金等調整前四半期純利益18億36百万円であり、主な支出は、法人税等の支払額14億47百万円、売上債権の増加額５億89百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は12億31百万円（前年同四半期は68百万円の収入）となりました。主な支出は、定期預金の増加額９億59百万円、新規旅館取得等に伴う有形固定資産の取得による支出１億66百万円、無形固定資産の取得による支出98百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は５億25百万円（前年同四半期は97百万円の支出）となりました。主な収入は、事業用地の購入資金対応のための長期借入れによる収入９億29百万円であり、主な支出は、長期借入金の返済による支出13億10百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年５月11日発表の予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,411,451	12,058,939
受取手形及び営業未収入金	665,281	1,254,385
有価証券	5,606	5,608
販売用不動産	6,684,834	5,575,387
仕掛販売用不動産	9,622,722	8,763,324
未成工事支出金	12,653	118,288
原材料及び貯蔵品	16,730	14,242
前渡金	75,800	120,711
繰延税金資産	380,870	372,460
その他	253,468	397,001
貸倒引当金	△5,515	△5,157
流動資産合計	29,123,903	28,675,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	854,596	903,278
減価償却累計額	△335,096	△362,160
建物及び構築物（純額）	519,499	541,117
土地	389,857	478,017
その他	242,377	248,836
減価償却累計額	△184,546	△191,930
その他（純額）	57,830	56,906
有形固定資産合計	967,188	1,076,041
無形固定資産	70,824	100,267
投資その他の資産		
投資有価証券	170,663	170,044
繰延税金資産	424,709	424,851
その他	1,057,756	1,169,491
貸倒引当金	△10,843	△10,722
投資その他の資産合計	1,642,285	1,753,663
固定資産合計	2,680,298	2,929,973
資産合計	31,804,201	31,605,164

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258,790	1,345,600
1年内返済予定の長期借入金	3,244,000	2,850,000
未払金	387,886	269,917
未払法人税等	1,409,075	755,144
未払消費税等	213,274	92,204
預り金	1,256,247	1,187,335
賞与引当金	114,232	187,426
その他	352,135	480,335
流動負債合計	8,235,641	7,167,964
固定負債		
長期借入金	2,868,000	2,881,000
退職給付引当金	242,978	246,688
役員退職慰労引当金	614,830	630,040
長期預り敷金保証金	1,618,681	1,571,091
長期預り金	86,646	81,174
その他	2,551	756
固定負債合計	5,433,687	5,410,749
負債合計	13,669,328	12,578,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	14,160,040	15,049,520
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	18,132,460	19,021,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,412	4,509
その他の包括利益累計額合計	2,412	4,509
純資産合計	18,134,873	19,026,450
負債純資産合計	31,804,201	31,605,164

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	13,429,473	14,831,140
売上原価	9,603,372	10,410,987
売上総利益	3,826,101	4,420,153
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	232,209	256,093
給料手当及び賞与	751,828	771,163
賞与引当金繰入額	180,683	181,825
退職給付費用	23,629	22,603
役員退職慰労引当金繰入額	13,440	15,210
その他	1,169,061	1,298,418
販売費及び一般管理費合計	2,370,852	2,545,314
営業利益	1,455,248	1,874,839
営業外収益		
受取利息	1,406	1,754
受取配当金	2,851	1,123
違約金収入	1,150	7,014
その他	7,784	3,331
営業外収益合計	13,193	13,224
営業外費用		
支払利息	70,993	47,368
その他	2,219	6,735
営業外費用合計	73,212	54,104
経常利益	1,395,229	1,833,959
特別利益		
受取補償金	－	6,018
特別利益合計	－	6,018
特別損失		
固定資産売却損	－	55
固定資産除却損	184	－
投資有価証券評価損	24,950	－
会員権評価損	－	3,250
特別損失合計	25,134	3,305
税金等調整前四半期純利益	1,370,094	1,836,672
法人税、住民税及び事業税	784,235	800,019
法人税等調整額	△64,461	7,107
法人税等合計	719,774	807,126
少数株主損益調整前四半期純利益	650,319	1,029,545
四半期純利益	650,319	1,029,545

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	650,319	1,029,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,115	2,096
その他の包括利益合計	10,115	2,096
四半期包括利益	660,435	1,031,642
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	660,435	1,031,642
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,370,094	1,836,672
減価償却費	44,072	51,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△609	△478
賞与引当金の増減額（△は減少）	76,638	73,194
退職給付引当金の増減額（△は減少）	18,257	3,710
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,440	15,210
受取利息及び受取配当金	△4,258	△2,878
支払利息	70,993	47,368
固定資産除却損	184	－
固定資産売却損益（△は益）	－	55
投資有価証券評価損益（△は益）	24,950	－
売上債権の増減額（△は増加）	△181,735	△589,103
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,849,838	1,859,848
仕入債務の増減額（△は減少）	△120,471	86,810
前渡金の増減額（△は増加）	△10,280	△44,911
前受金の増減額（△は減少）	51,746	134,924
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△71,334	△47,590
未払消費税等の増減額（△は減少）	165,444	△124,308
その他	△205,798	△304,410
小計	3,091,171	2,995,112
利息及び配当金の受取額	4,274	2,881
利息の支払額	△72,974	△46,786
法人税等の支払額	△1,074,769	△1,447,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,947,701	1,503,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,609	△166,752
有形固定資産の売却による収入	－	108
無形固定資産の取得による支出	－	△98,334
投資有価証券の取得による支出	△2,106	△2,565
定期預金の増減額（△は増加）	62,955	△959,024
その他	9,413	△4,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	68,652	△1,231,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,762,700	929,000
長期借入金の返済による支出	△1,777,800	△1,310,000
リース債務の返済による支出	△4,860	△4,860
配当金の支払額	△77,701	△139,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,661	△525,279
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,918,692	△252,534
現金及び現金同等物の期首残高	6,674,404	11,126,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,593,097	10,873,880

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,117,660	727,058	441,315	143,439	13,429,473	－	13,429,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,948	125,880	330,964	3,032	462,826	△462,826	－
計	12,120,608	852,939	772,280	146,471	13,892,300	△462,826	13,429,473
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,201,486	259,617	△13,154	△11,936	1,436,013	19,235	1,455,248

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額19,235千円には、セグメント間取引消去16,770千円、たな卸資産及び固定資産の調整額2,465千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,403,794	802,700	466,381	158,263	14,831,140	－	14,831,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,082	140,603	356,044	4,165	508,896	△508,896	－
計	13,411,877	943,303	822,425	162,429	15,340,036	△508,896	14,831,140
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,669,838	278,107	△35,517	△36,125	1,876,303	△1,463	1,874,839

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,463千円には、セグメント間取引消去16,480千円、たな卸資産及び固定資産の調整額△17,943千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。